



なんこく



市の花「タチバナの花」

全国的にも自生のものは少ないが、本市白木谷のタチバナは、一道木・中内・中山地区を中心に多数自生している。人家のそばや雑木林の中に、また道路わきにと至るところに成長している。大きなものは高さ7m以上・直径20cmにおよび、樹齢も200年を超したものがあつる。

果実は、みかんの実にそっくりだが、小粒なうえ種子が多く酸味も強いので食用には供せられない。昔は、常世とこよの木の実として珍重がられ、奈良時代から好んで庭に植えられたという。県の天然記念物に指定され、香り豊かで白い清楚な花は、南国市の文化の象徴として市制施行30周年を記念し、市の花に制定された。

『南国の歴史を歩く』から（南国市教育委員会 発行）

- | | | |
|-----------------|-------|-------|
| ますます充実！歯科保健事業 | | 2~4 |
| オープン間近 道の駅南国 | | 5 |
| 保育所の現状・障害者計画策定③ | | 6~7 |
| ポイ捨て条例・人権 | | 8~9 |
| みんなの広場・カメラリポート | | 10~11 |
| お知らせ・募集 | | 12~19 |